

2017/1/1・15 合併号

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内

食品公害を追放し安全な食べ物を求める会

TEL & FAX : 078-822-0810 第2FAX : 078-842-2430

■URL・<http://www.motomerukai.com>

■Email : info.motomerukai@gmail.com

求める会ニュース No. 932

新春のご挨拶



お正月は、日和が良く穏やかな日々でしたが、はや松の内も明け、日常の暮らしが始まりました。あまり若くはなくなった私たちですが、今年も元気に前向きに過ごせるように、キョウイク（今日行くところがあること）と、キョウヨウ（今日用がある）をしっかりと作っていくことが大切です。地域集会や全体会にご無沙汰の人は参加し、せめて「求める会ニュース」には忙しくても目を通して、会について一緒に考えてい

きましょう。

さて、アメリカではトランプ新大統領の誕生で、その政治制度に危機をもたらす言動に世界中が注目しています。働いても働いても報われない中間層の多くが、彼に投票したといわれています。このままでは、1%の富裕層に富が集中する経済格差の是正は期待できないと、差別のない公正な社会より個人の収入確保を優先したのです。イギリスのEU離脱も同じで、平和や福祉を目的とした経済統合システムよりも、生活の安全や安定を大事にしました。それらの選択の是非はともかく、あるべき社会のための精神性がない政治は、未来を拓くことができません。

日本においても、経済格差はひどくなる一方であり、他人事ではないのですが、ここでぐっと視点を身近に切り替えて私たちの会について考えてみました。1970年代、母乳から農薬が検出され、水俣病などの環境汚染により、食材に不安があった時代に求める会の活動は始まりました。単に安全な食べ物を求めるだけではなく、社会的な活動を展開したのです。

時を経て、オーガニックに多くの人に関心をもつようになり、その成果は引き継がれたように見えます。しかし消費者が食べ物を他人まかせにしていることに、変わりはありません。生産者とのつながりを持って食べ物をいただくことの意味を若い世代に伝えることは、現在の会の精神性の大切な部分です。自分たちはもう高齢だからと、伝えることを放棄してはトランプさんとかわりません。

昨年の「求める会ニュース」新春号のご挨拶で、食べ物を直接購入することを広げるイベントを会の外へ呼びかけることを提案しました（HPの広報参照）。そして、それを今年度の企画「おいしいね！」シリーズで実施して、若い世代との接点を得ることができました。私たちの活動は着実に前へ向かって進んでいます。しかしながら、今年は配送の委託先の変更など混乱が予想されます。会員の皆様には、思わぬことで戸惑われる場面もあるかと思いますが、新しく配送を担う「あしの会」へのご協力をよろしくお願いします。そして「求める会」を未来へつなげていくため、会を維持することに力をお貸してください。

（代表 大野 貞枝）

12月全体会報告

12月14日(水) 10:00~12:30

検討事項

1. 来年度の求める会の運営について

次期代表候補者選びが難航している。合議制(代表の仕事を3~5名で務めること)も考えられる。大野さんは北海道の娘さんが出産のため、2月~4月不在(その後もお手伝いで不在がち)なので、代表、部員の募集を前倒しでしたいという希望。

- ①代表なしでもよい。
- ②メンバーが集まらなかったら、代表も副代表も当番制にして皆で持ったらどうか。
- ③規約があるので、やってみてうまくいこうなら規約を変えることも考える。事務的には1月全体会で決めて2/1号のニュースに募集(自薦・他薦)の用紙を挟む。合議制の説明、月毎に変わるなど説明も入れる。
- ④代表が特別な状況にあることを皆に知らせる必要がある。
- ⑤総会には次の体制を整えておく必要がある。2月初めに募集の用紙を配る。
- ⑥大野さんの個人的な事情よりも、代表のなり手がいないことが一番の問題。
- ⑦2~4月に起こることの手当がまず必要。
- ⑧副代表が毎月変わって回るなら代表がいない間副代表が代わりをして、大野さんに来年度も代表を続けてもらったらどうか? 4月から配送があしの会に変わるので続けてほしい。

2. 収穫感謝祭 報告と反省

- ・若い人、来たことのない人も多かった。高齢化で会員の参加が減っている。
- ・試食は生産者と話もできてよかった。試食の片づけとヨガの準備がうまくいってなかった。求める会案内、大豆畑トラストのお知らせをもっと置いておくべきだった。
- ・食堂は学生さんがいなかったら無理だった。セルフサービスにしたらという意見も。豚汁の鍋を底から混ぜるものが必要(子芋が底に沈む)

- ・生産者のお話の時、人が少なかった。誘導が必要だった。3人の入会申込みがあった。

3 地域集会の現状と参加者が増える企画

参加者が少ないので、面白い企画を考える。

- #### 4. 配送があしの会に変わること
- で、芦田さんとの接点がなくなることを寂しく思う人が多い。会員への丁寧な説明が大切。

5. 奥谷さん(あしの会) 来訪され、質疑応答。

- ・卵を5個取っている人には生産者に10個入りパックに5個入れるなどしてもらおう。
- ・卵の資材は持って帰って届けます。
- ・今月中に配送時間など決めたい。
- ・箱はできたら次週に持って帰りたい。
- ・ステーションが枝分かれする場合は、ある程度の数量があれば相談させてほしい。
- ・東半分は牛乳の配送があるので、野菜がなくても牛乳は届けます。
- ・全部が終わるのを5時半までにしたい。
- ・小谷牧場・鎌田商店から配っているところは別の契約なので牛乳は今のままになります。できるだけあしの会に合わせて協力する方向で。個々の事情に合わせたサービスはできない。

報告事項

【生産者担当】★野菜 12月コンテナ数 大130、小375、合計505

畑の様子: 葉物野菜順調に生育。今週末週は里芋、大根を一回ずつ休む予定。苦情: 大根の中が空洞で茶色く葉も生えたような状態(4件)

★卵: 順調。鳥インフルエンザ対策として鶏舎の周囲に石灰を撒いている(大谷さん)

★米: 今は田に堆肥を入れている(高木、池野)

★麴: 今年は値上げはないが、来年値上げ予定。

★牛肉: 牛が少なく、へレは注文の数だけない。

★果物: みかんが豊作で追加注文受付中。

【事業部担当】全体会で調味料・パン・豆腐・塩干物、有機JAS 蓮根、豊岡の橋本さんの落花生・豆餅、中村さんのいちじくジャム。来年2月配送の松田のマネーズは辛口を取扱い。

【広報・庶務担当】12月14日(水) 午後1時から印刷。次回は1月14日(土) 印刷。

【渉外担当】・12月17日(土) オガニック交流会
10:30~15:30 こうべまちづくり会館ホール
・12月19日(月)「子供の貧困」学習討論集
会 18:30~21:00 17日と同会場

【実務部より】1017年1月11日(水) 部会
1月18日(水) 全体会 10:00~12:30
2月20日(月)「おいしいね!」が育てる元気
第5回「みそを作ろう」1kgお持ち帰り 800円

食料環境セミナー報告

「廃炉にむけて・美浜町の自立のために」

12月21日(水) 10:30~12:00

森と暮らすどんぐり倶楽部

代表 松下 照幸さん

1、美浜町のポジション

- ・美浜1・2号機の廃炉決定
- ・3号機の再稼働を強行：電力自由化での事故・トラブルが起ると消費者の関電への離脱加速、小さな事故で永久停止、株主訴訟の可能性。
- ・美浜町が経済的に自立することの重要性
他の立地自治体も脱原発の方向に向けており、全国のローカル自治体の共通課題である。
- ・立地地域経済の特徴
ローカル自治体の経済的疲弊を共有すれば、その上に立地地域の特異性が乗っかる。

2、「廃炉を活かす」

- ・発想の転換：「原発に頼らない!」：強い意志がある。50年に及ぶ原発依存経済は内部から変わりにくい。「廃炉を安全に」するには放射性廃棄物、燃料の保管等の問題が大である。

3、地域資源を生かす

- ・バイオマス(林業資源)と太陽資源を活かす
- ・風力を活かす：「中規模発電機」の風力エネルギー利用。美浜町にどれくらい必要か!
- ・「省エネ投資」を地域の産業に活かす：断熱改修支援制度……工務店、林業、他。

4、美浜町経済の活性化

- ・「地産地消」の推進：地域で消費する物資を調査し、出来るだけ地域で生産し、消費する。
- ・美浜町の光熱費は1戸当たり25万円(年)
- ・食、住宅費：「一極集中生産」と地域経済の弊害
地域のお金が地域外に流れる仕組みで、地場産業の衰退要因。「地産地消」が地域を救う。若者の雇用を創出し、定住人口の安定を計る。

- ・「安全、安心、雇用」が地域を救う
- ・消費者の「選択の自由」という壁：雇用、安全、品質を選択するか、「安さ」を選択するか。

5、コミュニティ・パワーで

- ・地域の会社で、地域の投資で、地域が利益を処

分する。SEP(環境エネ政策研究所)の活動

- ・「小さな成功モデル」を：小さな成功が、地域を変える!エネルギーから食、住宅へ!
- 6市民側からのアプローチ：地域ミニ熱供給システムの導入。省エネ投資を地域の産業に活かす。
- ・電線類の地中化(規制があり難しい)。
- ・再生可能エネルギーの普及支援、利用：太陽、風力、バイオマス……本気で推進、と町長が発言し実施中。
- ・他国とは条件、法的規制が異なり、地域全体は難しいが、どんぐり倶楽部や他施設で実施。
- ・資金をどうするか、誰がやるかが今後の課題。

○そして今美浜町は!

7、美浜ブランドの創出、成立

- ・美浜町の自立、脱原発。
- ・第一級の観光地化、エネルギー、食、住の自立!
- ・「政策」を競うトップ集団へ。そして「持続的な安定経済へ

8、ブランド化へのささやかな活動

- ・森と暮らすどんぐり倶楽部のブランド商品開発「森の実のシロップセット」(営業開始)
生物多様性アクション大賞：「食べよう」部門最優秀賞受賞(ガマズミ、ナツハゼ、サルナシ、ヤマボウシ、カリン、ユズ、夏ミカン等使用)
 - ・「紅どうだんつつじ公園」オープン
 - ・「紅どうだんつつじ祭り」毎年5月3日~15日
 - ・「日本でたった一つの私立の紅どうだん公園」
 - ・エチゼンカンタケの栽培
福井県が開発した希少な原木栽培キノコ。原種は多種。東京四十八漁場(居酒屋)に出荷。キノコのステーキ等に。
- 地域にある資源を使って地域の経済をどうするか、地域で自活していくことをモットーとしている。(都由乃町G 花岡 桂子)

次回食料環境セミナー

「電力自由化の“トリセツ”」

2017年1月25日(水) 10:30~12:00

京都大学大学院地域地球環境学舎

修士課程 加志村 拓さん

1月のカレンダー



1月18日(水) 全体会
1月20日(金) 申し込み締切日
自動引落日
1月25日(水) 食料環境セミナー

日本有機農業研究会全国大会

3月4日(土)～5日(日)

会場：長野県佐久市佐久大学・萬里温泉

参加費：全日程14,000円(1月申し込みの早割あり。部分参加もできます)

詳細など問い合わせは、鶴甲団地Gの飛田さんまで(078-854-1369)

食料環境セミナー

「電力自由化のトリセツ」

1月25日(水) 10:30～12:00

京都大学大学院地球環境学舎

修士課程 加志村 拓 さん

会場：神戸学生青年センター

参加費：600円

※託児あり(無料) 前々日までに要予約

Tel 078-851-2760

主催：(公財) 神戸学生青年センター

1月全体会検討議題

1. 今後の保険について
2. 地域集会の今後のあり方について
3. ヨガのぬんさんのスタジオと求める会の協力について
4. あしの会の配送移行をスムーズにするために
5. 次期代表選と今後の求める会の運営について

全体会当日は事業部の即売もあります

パン、塩干物、調味料、乾物、玄米おこし、コンニャク、きな粉、ハト麦茶など、いつもの品物のほかに、豊岡の橋本拓巳さんの黒豆餅もあります。(今回は、豆腐はありません。2月はあります。)

【お知らせ】みかんの追加注文受け付けています

1ケース200円値引きします

ご希望の方は事務所まで申し込んでください。

Tel&FAX 078-822-0810

第2FAX 078-842-2430

【インフルエンザ予防に外出から帰ったら手洗い・うがいの励行を】 予防に効果がある手の洗い方は、石鹸で①手のひら、手の甲をよくこする②指先、爪の間、指の間も入念に洗う③手首も忘れずに④流水ですすぐ⑤この間約20秒、しっかり時間をかけて洗うこと

【咳・のどの痛みにハチミツ大根】 ①大根(量は適宜)は5mmほどのイチョウ切りにして、ビンなどの容器に入れる②ハチミツを①の容器に入れる(大根にからめる程度でOK)③容器にふたをして冷蔵庫に入れ、2、3時間おくとハチミツ大根シロップができる④シロップを大きじ1ほどゆっくりなめる(朝と夜2回)。そのままなめるのが苦手な人は、お湯、紅茶など温かい飲み物に入れて飲む。